

公開講演会 ~広島京大会主催・京都大学共催~

# 「戦後事件史から見た 世相の変遷」

講師 坂井 一郎氏

(元広島高検検事長、現マツダ社外取締役)

戦後日本を揺るがした著名な凶悪事件・公安事件・特捜事件の数々を検察の立場から振り返り、これらを通じて見られる世相の変遷を検証する。また、近年、批判が高まっている特捜部や検察の現状について、その背景や今後の方針性を展望する。

最近導入された裁判員制度などを例に、日本と西欧との司法制度の違いについても解説する。

11月28日（水）午後5時から約1時間半

(開場 午後4時半)

ANAクラウンプラザホテル広島

(広島市中区中町) 3階オーキッドの間

入場無料

問い合わせ 広島京大会事務局TEL082(247)9341(岡野)

広島京大会は、県内在住の京都大学卒業生約1300人からなる同窓会です



坂井一郎氏（さかい・いちろう）1966年、京都大法学部卒。68年、検事に任官、最高検検事、那覇地検検事正などを経て、97年12月、法務省矯正局長。99年12月、横浜地検検事正。2001年5月、法務省法務総合研究所長。02年10月、広島高検検事長。04年6月、福岡高検検事長。05年3月退任し、4月に弁護士登録。特捜部では大企業における特別背任罪の捜査、公安部では昭和天皇の崩御に伴う警備・公安事件の処理に携わった。東レ（09年6月まで）とキューピーの監査役。マツダ社外取締役。北九州市出身。

#### 会場の地図 ANA クラウンプラザホテル広島

